



リニアが来るまち さかもと
リニアで変わる
新しいまちのカタチ



ひととひとを
つなぎたい！



リニアの来るまち

坂本まちづくり協議会

〒509-9131 中津川市千旦林1197-10 TEL 68-2001 FAX 78-0002



スマホ用QRコード
(まち協ホームページ)

2027年 リニア新幹線の開業を目指し今、坂本は大きく動いています。
今この瞬間坂本の新しい歴史が作られています。

①ガイドウェイ製作・保管ヤード



②リニア中央新幹線岐阜県駅（仮称）とその周辺



(2022年11月の様子です) 空からしか見られない景色、空から見るからよくわかる変化。

③中部総合車両基地

(旧 岐阜県中山間農業研究所周辺)



①ガイドウェイ製作保管ヤード

坂本北部グラウンド北側では、岐阜県内をリニアが走る約55Km分のガイドウェイを製作保管するためのヤードを整備しています。

ヤード内にはガイドウェイの制作・保管スペースやガイドウェイへの部品取り付けスペースなどが整備される計画です。

【ガイドウェイとは】

鉄道でいう線路（レール）にあたるものと、リニアを走らせるためのモーター役にあたる地上コイルが、一緒になったもので、リニアを速く安全に走らせるために、重要な役割りを果たします。

②リニア中央新幹線岐阜県駅（仮称）とその周辺

リニア岐阜県駅には公園や広場が整備され、駅の機能とともに私たち坂本の住民の憩の場に生まれ変わります。特に千旦林川親水公園には、坂本の自然を感じる木々や植物が植えられ、ふるさと坂本を象徴する場所になっていくでしょう。

【県道苗木恵那線と坂本橋】

令和5年1月11日(予定)より、美乃坂本駅西側を通る県道苗木恵那線の一部区間の通行が変わります。坂本橋は通行不能になり、仮付け替え道路の供用が始まります。

この付近に立てられている紅白のポールは、リニア中央新幹線の中心線を示しています。

③中部総合車両基地

リニア中央新幹線品川～名古屋間の車両基地は、神奈川県相模原市に設置される関東車両基地とこの中部総合車両基地の2カ所だけです。中部総合車両基地には、日本で唯一のリニアの工場が建設されます。新製車両の搬入や編成としての組み上げ、そしてオーバーホールなどは、すべてこの工場で行われます。

濃飛横断自動車道

郡上と中津川を結ぶ、約80Kmに及ぶ自動車専用道路です。

現在、中央自動車道に連結するための工事が、パロー坂本店周辺で集中的に行われています。



まちは生きています

豊かな自然、深い歴史。先人たちが築き上げてきた文化。私たちが住む坂本には魅力がたくさんあります。

現在、リニア中央新幹線開業に向けて多くの工事が行われています。リニア中央新幹線の開業後の坂本地域は、岐阜県の新たな東の玄関口という役割を担うとともに、東濃地域の中心地として大きく姿を変えていくと予想されます。坂本地域内で同時に行われる大型工事に、様々な心配や不安があるかもしれません。また、まちの変化に、大切なものを失ってしまうかもしれません。しかしそれも坂本の大切な歴史の1ページです。

まちは生きています。日々姿を変えます。未来の子どもたちに、素晴らしい坂本のまちを作り上げ、受け渡していきたいものです。

坂本まちづくり協議会では、自然や歴史、文化の継承、そしてお互いが助け合う地域コミュニティの再生など、ここに住む人たちが主体となって活動できる環境作りをしています。区民の皆様の協力のもと、坂本地域を笑顔で住み良い元気なまちにしていきたいと思います。